

1月30日(水) 本年度第28回(通算2667回)12時30分～ 釧路プリンスホテル

『フォーラム(ロータリー理解)』

担当/ロータリー研修委員会

☆出席報告【会員総数63名 免除7名 出席計算に用いた会員数63名】

本日の出席者 35名 52%

☆ニコニコ献金

- ・高橋 貢君 ～ 本日出張の為、欠席となりますが中嶋委員長よりよろしくお願いします。
- ・小林 裕幸君 ～ 中嶋委員長、本日の例会よりよろしくお願いします。
- ・北川 健二君 ～ 26年間ありがとうございます。

☆会長挨拶☆ 《萩原副会長》



皆様こんにちは。本日、高橋会長は所用の為欠席しておりますので、私からご挨拶致します。

釧路市内も今、インフルエンザの猛威の中にあります。小中学校では学級閉鎖が相次いでおります。今年のインフルエンザの傾向は、子供より成人の方に感染する確率が多いみたいです。会員の皆様もインフルエンザまた風邪には十分注意してください。

1月はロータリー理解推進月間の月であります。毎年1月に予定しております恒例の朝粥塾も、ロータリー理解推進月間の1つであります。今回1日ずれこみましたが2月1日午前7時より、厳島神社社務所殿において開催致します。講師は足立パストガバナー。講演テーマは「武士道とロータリー」です。

ちなみに、武士道とは、己を自己管理するための、精神的、肉体的修行です。武士道は己の心身を強化し、我慢を重ね、調和をはかり、そして弱いものを守るための修行とあります。この武士道とロータリーがどのような関係にあるのか非常に興味深いところです。5年未満の会員の方はぜひ参加していただきたいと思っております。

もう1つは、RIより日本における会員増強達成のためにおこなうサクセスジャパン作戦、ローマ字で(SAKUJI作戦)の概要が来ておまして、参加するしないは、理事会で審議してくださいということなので、急きょ理事会を開きまして参加することに決まりました。詳細は本日、中嶋研修委員長より報告があるかと思っております。

☆幹事報告☆ 《小林幹事》



- ①本日に回覧について、釧路東ロータリークラブより12月月報・弟子屈ロータリークラブより12月会報が届いております。
- ②2月例会の案内が釧路東・釧路西・釧路南・釧路ベイの各ロータリークラブより届いております。
- ③the rotarian2月号・ロータリーの友2月号届いております。
- ④第7分区のI・Mの案内が釧路南ロータリークラブより届いております。
日時は3月16日土曜日、14時～19時 釧路キャッスルホテルです、詳細につきましては会員皆様の所へFAXにてご案内申し上げます。
- ⑤2月のロータリーレートですが1ドル88円となっております。
- ⑥新聞等で既にご存知かと思いますが、2011～12年度
RI 2500地区ガバナー増田 一雄様(旭川西RC)が1月25日ご逝去されました、ここに哀悼の意を表し会員の皆様へお知らせいたします。



ロータリー研修委員長
中嶋嘉昭君

本日は、ロータリー研修委員会担当、クラブフォーラム(討論会)として、ロータリー理解推進月間に寄せて進めて参ります。

「SAKUJI作戦」について、まずロータリーの友1月号に、ロータリー理解推進月間の特集が組まれております。「新しいロータリーを知る」の表題で「ロータリーの目的」と「R1戦略計画の理念」という記事をはじめ、7ページに亘って載っております。詳しくは後ほどお読み頂きたいと存じます。

その中で長年、使いなれ親しんできた、ロータリーの綱領「The Object of Rotary」の日本語訳が久しぶりに、「ロータリーの目的」と改訂されたとあります。

1935年に定款がまとめられ「ロータリーの綱領」となり、1951年複数から単数に変更され、主文とともに四項目の奉仕部門が定着しました、1989年には、主文の「実業人と専門職業人」の訳が「事業と専門職務に携わる人」と文言の変更はありましたが、長年日本のロータリアンに親しまれてきました。

しかし、この間この「ロータリーの綱領」という日本語訳、訳語が英語の原文と比較して妥当でない、また内容や表現が理解しにくいなどの賛否両論の意見があり、もっと理解しやすい平易な文章にする事が日本のロータリーの長年の宿願だったのです。

綱領等翻訳問題調査研究小委員会が設置され、7名の委員が選出されました。新旧バージョンの併存を前提に意見交換し、2年越しの見直し作業として進めました。2010年7月、クラブに対してアンケート調査では、しばらく併存させることが妥当と思われた。綱領については、2010年11月のロータリー研究会でのパネル討論会で、現行綱領の問題点についての意見交換を行った。

初年度は、問題点の把握とそれらを中心に意見交換を行い、アンケート調査を行った結果は、約半数が修正を望むでりました。

2年目はアンケート調査の結果を踏まえて、併存を前提し、所見の収集の多様化を行いつつ、新バージョンの提案に向け調査研究に注力しました。

小委員会がまとめた原案にもとづいて、RI理事諮問委員会は、全体の文章の環代的な表現、理解しやすいものにするに異議はなく、「綱領」を「目的」とすること、「奉仕の理想」を「奉仕の理念」に変更することに同意しました。各項目の文言については、答申が主体であります。結果を全体的にまとめ、RI日本語課と協議、調整し最終的に日本語翻訳改定案が承認されました。田中作次R1会長の了承も得ているとの事です。

「R1戦略計画の理念」については、「ロータリーの友」1月号をご一読下さい。その文章の最後に、終わりにという文章が載っておりますので、紹介いたします。日本のロータリアンの数は、年々減少して今や9万人を切っている現状です。私たちは何ととしてでも、ロータリーの活性化を図り、将来のロータリーを担う可能性のあるロータリアンの増加を図ることが急務であります。云々と書いてあります。

本例会で、会員増強のひとつの手法であります「SAKUJI作戦」について話合ってください。「SAKUJI作戦」について説明します。日本における会員増強達成のために行う。概要説明、ステップⅠ、Ⅱ、Ⅲ、第1次目標について会員の皆様には、クラブとして今後の参考にさせていただきますので、「クラブとして紹介状による新入会員を迎える事に賛同するかどうか」と、急ではありますが、紹介できそうな雰囲気があるかどうか、話合ってください。



日本における会員増強達成のために行う
サクセス ジャパン作戦(SAKUJI作戦)の概要

ステップⅠ

- ①会員が、日本にいる信頼できる(ロータリアンに相応しい)友人や知人を紹介する。
- ②紹介者は本人に紹介をした旨連絡をする。
- ③会員が書いた紹介状をクラブで集め、地区で取りまとめる。
- ④地区は、仕分けをし、33地区に送る。

ステップⅡ

- ①地区は、この紹介状による増強(作戦)に賛同するクラブを募集する。
- ②クラブは概況を記した申請用紙を提出、地区はクラブ一覧表を作成する。
- ③紹介状を受け取った地区は、地区委員が『ロータリーのしおり』と登録クラブ一覧表をもって、面会。A入会希望 B入会见込みあり C考慮する D見込みなしの判断をする。AとBについては希望クラブを聞いて、地区増強委員長がクラブ会長宛に推薦状と紹介状コピーを送付。
クラブは本人と面会の上、会員選考など正規の手続きに入る。

ステップⅢ

- ①手続きを引き継いだクラブは、地区に経過を報告
- ②地区は、クラブでの進行状況を管理
- ③入会者を迎えたクラブは、地区、紹介者へ報告
- ④第1次目標終了後、地区は月毎にゾーンのRCに入会者数を報告
RCはゾーンごとに集計をして、RI理事、RI会員増強委員に報告

第1次目標

作戦はステップⅡ③を25年2月(ロータリーと田中RI会長の誕生日)末までに実施することを目標とする

不明点は、担当のRCへ

第1ゾーン	桑原 茂	sk2520gov@s8.dion.ne.
第2ゾーン	坂本俊雄	sakamoto-190503@niftv.com
第3ゾーン	井上暎夫	teru@inouetax.com

現バージョン

定款 第4条 綱領

ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある。

- 第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。
- 第2 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するために、その業務を品位あらしめること。
- 第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

新バージョン

定款 第4条 ロータリーの目的

ロータリーの目的は、有益な事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育成する。特に、次の各項を奨励することにある。

- 第1 奉仕の機会を通して知り合いを広めること。
- 第2 奉仕の機会を通して、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと、認識し、ロータリアン各自の職業の品位を保つこと。
- 第3 ロータリアン一人ひとりの個人生活、事業生活、社会生活において、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、国際ロータリーの活動を通して、国際理解、親善、および平和を推進すること。

新「ロータリーの目的」

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 一奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

付記

「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、R I 理事会の意見が一致した。

(ロータリー章典26, 020)